

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の連結業務粗利益は、1兆3,168億円と前年同期比2,507億円の増益となりました。これは、三井住友銀行において、金利動向を的確に捉えたオペレーションの実施により国債等債券損益が増益となったこと等を主因に業務粗利益が前年同期比1,192億円増加したことや、昨年10月から新たに連結子会社となりました日興コーディアル証券株式会社の収益が寄与したこと等が要因であります。

また、営業経費につきましては、三井住友銀行単体では前年同期並みの3,453億円となりましたが、連結ベースでは日興コーディアル証券株式会社等の連結子会社の増加による影響から前年同期比1,226億円増加の6,556億円となりました。

一方、与信関係費用は、三井住友銀行において、引続き取引先の経営改善等に向けたきめ細かい対応の強化に取り組んできた成果等により前年同期比1,136億円減少したことなどから、連結ベースでは前年同期比1,627億円減少の1,058億円となりました。

以上の結果、経常利益は5,406億円と前年同期比3,184億円の増益、特別損益や法人税等調整額等を勘案した中間純利益は4,175億円と前年同期比2,940億円の増益となりました。

【連結】

(単位:億円)

	22年度第2四半期累計期間		21年度 (参考)
	(4月～9月)	前年同期比	
連結粗利益	13,168	+ 2,507	22,366
営業経費	△ 6,556	△ 1,226	△ 11,613
与信関係費用	△ 1,058	+ 1,627	△ 4,730
株式等損益	△ 226	△ 137	△ 101
経常利益	5,406	+ 3,184	5,588
中間純利益	4,175	+ 2,940	2,716

【三井住友銀行単体】

業務粗利益	8,386	+ 1,192	14,553
経費(除く臨時処理分)	△ 3,453	△ 36	△ 6,858
業務純益 ^(注)	4,933	+ 1,156	7,695
うち国債等債券損益	1,512	+ 1,123	373
与信関係費用	△ 433	+ 1,136	△ 2,547
株式等損益	△ 183	+ 186	39
経常利益	3,930	+ 2,459	4,627
中間純利益	3,512	+ 2,386	3,180

(注)業務純益:一般貸倒引当金繰入前